

# WAKAYAMA

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から

文化力  
POWER OF CULTURE

2012年  
11・12月号 Vol.

46

Wakayama Culture and Arts **POWER**



## Contents

- アーティストメッセージ…2
- 和歌山県文化表彰受賞者…3
- イベントガイド…4・5
- 和歌山癒しの電車紀行…6
- 大好き和歌山 …7
- カルチャーインフォメーション…8

### 【和歌山癒しの電車紀行】

# 地域を支える、名物電車

【和歌山電鉄／和歌山市～紀の川市】

今や全国区で愛される和歌山電鉄の貴志川線。終点の貴志駅では、映画やテレビで世界デビューも果たした「たま」駅長がお出迎え。おもちゃ電車やたま電車など、名物列車も併せて路線を賑わします。

# artist message

アーティスト メッセージ

## 子どもたちの心が豊かに育つために、大切なものを見つけてほしい

「親子でコンサートに行こう～0歳児から入れる音楽会～」が来年1月20日(日)に海南市民交流センター(海南市下津町)で開催されます。このコンサートの楽しみ方を企画し、そして司会をしていただく、元NHK歌のお兄さん・新井宗平さんにお聞きしました。

**Q** 「親子でコンサートに行こう～0歳児から入れる音楽会～」と銘打つての演奏会ですが、なぜ、0歳児から入れるコンサートを企画しようとしたのですか？

**A** 子どもたちにとって音楽は、特別なものではありません。山で鳥のさえずりに、海で波の音に出会うように、自然に気軽に音楽に出会ってほしいと願っています。たくさん子どもたちに出会ってきましたが、『見えないものを見る力(想像力)』には、いつも驚かされます。本当に大事なものは隠れて見えません。音楽はその心を無限に引き出せると信じています。子どもたちの心が豊かに育つために、見えないものを見せてくれる音楽をいっぱい感じてほしいのです。

**Q** コンサートを見た子供たちからどのような反響がありますか。また、この公演に出演してどのような感想をお持ちですか？

**A** 子どもたちは、演奏技術の評価しませんし、表現も自由です。時には、大人の考えとは全く違う表現でもあり

ます(踊り出したり、口ずさんだり)。心の動きをストレートに表現してくれます。演奏者の想いもすべて音楽として感じているようです。そういう意味で、子どもたちは、とても厳しい聴衆です。でも、音楽と一緒に心もすべて受け止めてくれるのですから、素晴らしい聴衆だとも言えます。終演後、いっぱい笑顔で楽しかった、また一緒に遊ぼうねと声をかけてくれる子どもたちもたくさんいます。《クラシック音楽とは・・・》という規制された大人の考えは、子どもたちの柔軟な心には、あまり必要がないんだなあと感じることもよくあります。ですから、演奏者も心を自由に全身全霊で音楽に向かわなければならないと思っています。

**Q** 一緒に出演する大阪交響楽団のメンバーには、どのような印象をお持ちですか？

**A** 若くてエネルギッシュで、何より音楽を届けたいという一人一人の想いがとても強い楽団だと思います。子どもたちへの眼差しも優しく、自分たちの主張よりも『子どもたちにとってど

## Profile

### 大阪交響楽団

1980年創立。楽団代表・敷島博子が「聴くもの、演奏するものも満足できる音楽を!」をモットーに提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「心の叫び」「情熱の音」と評されている。2000年本拠地を大阪府堺市へ移転。政令指定都市・堺の新たな文化の顔としての活躍が目されている。平成21年度(第64回)文化庁芸術祭「芸術祭大賞」を受賞。2010年4月、楽団名を「大阪交響楽団」と改称

うなのか』いつもその事を大切に見つめていらっしゃいます。その想いと素晴らしい音楽表現技術が、子どもたちの心を音楽の中へ誘い込むのだと思います。

**Q** ご来場いただける皆様方にメッセージをお願いします

**A** 今日のコンサートは、今日しかありません。会場にいるみんなの心をつなげて、素敵なコンサートを一緒に作りましょう! 子どもたちの笑い声、はしゃぎ声、笑顔、寝顔、泣き声まで、すべてが音楽の中にあります。大阪交響楽団のみんなと楽しみに待っています。音楽の中で一緒に遊びましょう!



司会 新井宗平



司会 山本かずみ



ヴァイオリン 宮崎 真弓



ヴァイオリン 坂口雅秀



チェロ 荒木雅美



ヴァイオリン 村上 慈



ピアノ 吉岡麻梨

## 2013年1月20日 親子でコンサートに行こう!! 0歳児から入れる音楽会

- 開演 / ①午後1時30分 ②午後4時 (開場は①②とも30分前)
- 場所 / 海南市民交流センター(ふれあいホール)
- 入場料 / 大人1,000円、子ども500円、親子ペア1,200円  
※子ども料金は高校生まで。3歳未満無料(ただし、お膝の上)  
※当日券は、各300円増し。全席自由席。
- 出演 / 大阪交響楽団メンバーによる四重奏十ピアノ  
楽しいおしゃべり / 新井宗平、山本かずみ  
チェロ / 荒木雅美、ヴァイオリン / 坂口雅秀、ヴァイオリン / 村上 慈  
ヴァイオリン / 宮崎真弓、ピアノ / 吉岡麻梨
- 主催・お問い合わせ / 和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331





## 平成23年度 和歌山県文化表彰受賞者



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に  
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

### 平成23年度 和歌山県文化奨励賞

プロマジシャン

原 大樹(はらひろき)さん

平成2年、奈良県の十津川村に生まれる。小・中学校と新宮市で過ごし、高校卒業後は北山村へ。マジックとの出会いは5歳の時。独学でマジックを習得しながら、15歳でSAM(アメリカマジシャン協会)の国際大会で史上最年少入賞を果たしデビュー。熊野の大自然からインスピレーションを受けた独創性のあるマジックで世界を舞台に活躍中。(公式サイト <http://www.hirokihara.com>)



「最初のマジックは小学2年生の時。担任の先生のお別れ会でトランプマジックを披露したのが初舞台です(笑)」。平成生まれの22歳、世界で活躍するプロマジシャン・原大樹さんの故郷であり、現住所は大自然に囲まれる和歌山の秘境、北山村。何も無い自然環境がオリジナルのアイデアとトリックを生み出し、独創性の高いマジックを育ててくれたと、原さんは言います。「道具はすべて自作。トリックはビデオがすり切れるぐらい録画をスロー再生して推測し、自分なりにアレンジしてきました」。

平成21年、次世代のスターマジシャンを発掘するラスベガスで開催されたランス・パートン氏主催の世界大会に出場し、日本人初のグランプリを受賞。プロマジシャンとして世界の大舞台へと駆け上がります。「ステージ上では常に一方的なものではなく、ギャラリーと一緒に楽しめる不思議を追求しています。和と洋を融合させた美しいマジック、そして日本人の心意気をお見せしたいですね」。アメリカやヨーロッパ、アジアなど世界的活躍が光る今、最も注目される若手マジシャンの一人です。



マジックの殿堂・マジックキャッスルで日本人史上最年少でゲスト出演するなど、国内外問わず活躍。

洋画家

湯川雅紀(ゆかわまさき)さん

昭和41年海南市出身。和歌山大学教育学部美術科在学中に画家を志し、大阪教育大学大学院修了後、さらなる享受を求めて渡独。ドイツ国立デュッセルドルフ芸術大学でマイスターシューラー取得後、ドイツで活動を続ける。平成10年、新進芸術家の登竜門VOCA展で大賞を受賞。平成22年帰国。国内外での個展やグループ展、また講師として文化振興に寄与する。



単純な形の重なりによって生み出される構造体で、世界の成り立ちをシミュレーションする美術家・湯川雅紀さんの作品。その主たるモチーフは楕円や円板。「ドイツ留学中に出合った一冊の生物図鑑がきっかけ。そこに図解された“ミミズの内部構造”に、今まで自分の作品になかった立体的な空間の広がりを感じ、制作意欲をかき立てられました」と湯川さん。そもそもミミズやゴカイなどの腔腸生物は竹の節のような複数の隔壁をもち、それらが消化管と排出管の2本の管で貫かれています。これを元にしたのが、作品に一貫して見られる複数の楕円をラインで結んだ構造体。単純なシルエットが多層的に重なり合うことでモチーフがキャンバスから飛び出し、不思議な絵画空間を広げています。

平成10年、日本国内の新進芸術家の登竜門として名高い「VOCA賞」を受賞。湯川さんの作品は東京国立近代美術館のほか、和歌山県立近代美術館などにも所蔵されています。「作家活動と平行に、芸術の裾野を広げる環境づくりにも着手。絵を楽しむための素養を子どもたちに教えていきたいと思います」。



単純なシルエットが多層的に重なり合う湯川さんの作品。国内の美術館などで作品が所蔵されています。

## わかふるコンサート

※わかふる…「和歌山」の“わか”と「たくさん」の“ful”を併せた造語です。※出演順未定

11/18

## 動物愛護センターコンサート

県内で活動する音楽グループが、動物にゆかりのある親しみやすい名曲等を演奏します。

- 開演/午後1時30分 ■入場料/無料
- 場所/和歌山県動物愛護センター オリエンテーションホール(和歌山県海草郡紀美野町国木原372)
- 出演/◆二胡来堂[(二胡)石上妙子、柏木洋子、木村匡一、貴志起久子、神徳佳子、田中弘子、辻 賀代子、直江万里子、森 昌子]  
◆Pêche[新宅一家(サクソフォン)、松本有里(ピアノ)] ◆マリンバエミール[(マリンバ)新井貞子、崎本美希、大利宏美]
- 主催/お問い合わせ/和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団TEL073-436-1331

12/2

## 第40回 和歌山県 新人演奏会

※9月30日の入場券で  
ご入場できます。

9月30日(日)に開催予定していましたが第40回和歌山県新人演奏会は、台風17号の影響により12月2日(日)に日程を変更して開催します。

- 開演/午後1時
- 場所/粉河ふるさとセンター大ホール(紀の川市粉河580)
- 入場料金/1,000円(全席自由) ※未就学児入場不可
- 主催/お問い合わせ/和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331

## ■第一部



## 中西裕子

【箏】(和歌山市出身)

演奏曲目★沢井忠夫/鳥のように



## 渡部文馨

【ピアノ】(和歌山市出身)

演奏曲目★サン＝サーンス/アレグロ  
ロアパッション Op.70

## 寺本 翔

【ピアノ】(紀の川市出身)

演奏曲目★ブラームス/ピアノソナタ第3番へ短調 Op.5 第一楽章



## 福尾拓哉

【ピアノ】(新宮市出身)

演奏曲目★ショパン/スケルツォ第2番変ロ短調 Op.31



## 菊澤瑛子

【ピアノ】(紀の川市出身)

演奏曲目★ラヴェル/「鏡」より II. 悲しい鳥たち IV. 道化師の朝の歌



## 坂本健斗

【チューバ】(橋本市出身)

演奏曲目★M.エレビー/チューバ協奏曲



## 片山 晃

【トランペット】(和歌山市出身)

演奏曲目★H.トマジ/トランペット協奏曲

## ■第二部



## 辻 直子

【フルート】(和歌山市出身)

演奏曲目★P.タファネル/「ミニヨン」の主題によるグランドファンタジー



## 鳴神綾香

【ピアノ】(和歌山市出身)

演奏曲目★リスト/パッハの名による幻想曲とフーガ



## 船本真依子

【ピアノ】(海南市出身)

演奏曲目★ショパン/スケルツォ第3番嬰ハ短調 Op.39



## 浅田陽子

【ピアノ】(和歌山市在住)

演奏曲目★リスト/ハンガリー狂詩曲第12番嬰ハ短調



## 小泉友衣子

【ピアノ】(湯浅町出身)

演奏曲目★ショパン/ピアノソナタ第2番 変ロ短調 Op.35 第一楽章・第二楽章



## 杉原 藍

【声楽】(海南市出身)

演奏曲目★H.ヴォルフ/「お澄まし娘」、R.シュトラウス/「喜けい」、ウェーバー/オペラ「魔弾の射手」より “亡き叔母が見た夢…悲しそうな眼差しは”

## 第66回和歌山県美術展覧会

県内における美術文化の向上と発展に資するために開催します。部門は、洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑、華道の7部門です。

## ■本展

## 日本画・書・工芸

10月24日(水)～10月28日(日)午前9時30分～午後5時  
和歌山県立近代美術館(和歌山市吹上1-4-4)

終了しました

## 洋画・写真・彫塑

10月31日(水)～11月4日(日)午前9時30分～午後5時  
和歌山県立近代美術館(和歌山市吹上1-4-4)

## 華道

## マスタース展(洋画・日本画・書・写真・工芸・彫塑・華道)

10月24日(水)～11月4日(日)午前9時30分～午後5時  
和歌山ビッグ愛(和歌山市手平2-1-2)

※華道の展示は、10月24日(水)～10月28日(日)の5日間

華道は終了しました

## ■地方展

※華道の展示は行いません。

## 上富田展

11月14日(水)～11月18日(日)午前9時～午後5時  
上富田文化会館(上富田町朝来758-1)

## 橋本展

11月28日(水)～12月2日(日)午前10時～午後5時  
和歌山県立橋本体育館(橋本市北馬場455)

## 新宮展

12月5日(水)～12月9日(日)午前10時～午後5時  
新宮市職業訓練センター(新宮市春日1-35)

お問い合わせ先/和歌山県文化国際課 県展担当 TEL.073-441-2050

2013  
1/7  
日  
20

## 親子でコンサートに行こう!! ~0歳児から入れる音楽会~

クラシックコンサートと言うと子連れではなかなか入れないというイメージですが、このコンサートは小さなお子様にも本物の音の心地よさを感じてもらえます。

また、お子様には素敵なプレゼントやホンモノの楽器に触れる等趣向を凝らしています。家族みんなで素敵なひとときをお過ごしください。



司会 新井宗平



司会 山本かずみ

- 開演 / ①午後1時30分 ②午後4時 (開場は①②とも30分前)
- 場所 / 海南市民交流センター(ふれあいホール)
- 入場料 / 大人1,000円、子ども500円、親子ペア1,200円  
※子ども料金は高校生まで。3歳未満無料(ただし、お膝の上)  
※当日券は、各300円増し。全席自由席。
- 出演 / 大阪交響楽団メンバーによる四重奏十ピアノ  
司会/新井宗平、山本かずみ チェロ荒木雅美、ヴィオラ坂口雅秀、  
ヴァイオリン村上慈、ヴァイオリン宮崎真弓、ピアノ吉岡麻梨が贈るファミリーコンサート
- 演奏曲目 / 久石 譲「となりのトトロ」より「さんぽ」  
黒須克彦 夢をかなえて ドラえもん  
モンティ チャールダッシュ 他
- 主催・お問い合わせ / 和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団  
TEL073-436-1331

2013  
1/27  
日  
27

## 第7回音の杜コンサート

このコンサートは、和歌山県新人演奏会出演後も演奏活動を継続され活躍中の方々によるもので、誰もが気軽に聴けるクラシックコンサートです。

- 開演 / 午後2時
- 場所 / 海南市民交流センター(海南市下津町下津500-1)
- 入場料 / 1,000円(全席自由)
- 主催・お問い合わせ / 和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団  
TEL073-436-1331

2013  
1/月 火  
28・29

## 平成24年度優秀映画鑑賞推進事業 名作シネマシアター

日本映画史に残る不朽の名作を上映します。往年のスターの名場面など心踊らせた青春時代が蘇ります。すでにご覧になっている方から初めてこれらの作品に出会われる方まで何度観ても新たな感動を呼ぶ映画史に残る傑作をお楽しみください。

- 開演 / 両日とも午前10時(開場 / 9時30分)
- 場所 / 紀南文化会館大ホール
- 入場料 / 前売券400円、当日券450円  
※全席自由席(2日間入場できます)
- 主催・お問い合わせ / 和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団  
TEL073-436-1331
- 共催・お問い合わせ / 田辺市教育委員会 文化振興課  
TEL0739-26-9943

1月28日(月)

愛の讃歌 10:00~11:34  
稲妻 12:00~13:27  
華岡青洲の妻 13:35~15:14  
浪華悲歌 15:25~16:37

1月29日(火)

華岡青洲の妻 10:00~11:39  
浪華悲歌 12:10~13:22  
愛の讃歌 13:30~15:04  
稲妻 15:15~16:42



## 愛の讃歌

1967年 松竹

- 原作 / M.パニョール
- 脚本・監督 / 山田洋次
- 出演 / 倍賞千恵子、中山仁、伴淳三郎ほか

フランスの劇作家、マルセル・パニョールの「ファニー」を翻案した作品。舞台はマルセイユから瀬戸内の小さな島に置き換えられ、その豊かな自然を背景に、若い男女の恋の行方が綴られている。遠くブラジルをめざす青年と故郷に残る娘の物語である。



## 稲妻

1952年 大映

- 原作 / 林芙美子
- 監督 / 成瀬巳喜男
- 出演 / 高峰秀子、三浦光子、香川京子ほか

父親の違う四人の子供たち、母はそれをそのまま受け入れて暮らしているが、末っ子の清子(高峰秀子)は姉や兄たちの身勝手に無気力な生き方に生理的な嫌悪を抱いている。林芙美子の同名小説は1936年に発表されたもので、実母をモデルにしたものだと言われている。



## 華岡青洲の妻

1967年 大映

- 原作 / 有吉佐和子
- 監督 / 増村保造
- 出演 / 市川雷蔵、若尾文子、高峰秀子ほか

有吉佐和子の同名原作を、新藤兼人の脚本を得て増村保造が映画化した作品。日本初の麻酔薬の開発者として名高い、紀州の医師華岡青洲をめぐる母と妻の葛藤を中心に描いている。増村保造はこの映画化に熱心で、企画会議で永田雅一社長に訴えて製作許可を得た。



## 浪華悲歌

1936年 第一映画

- 原作・監督 / 溝口健二
- 出演 / 山田五十鈴、梅村容子、新藤英太郎ほか

大阪の製薬会社で電話交換手として働くモダンガールのアヤ子(山田五十鈴)が家族の経済的苦境を救うため、言い寄ってきた社長の囲われ者となるが…。1930年に映画女優としてデビューした山田五十鈴は、本作で厳しい溝口の演技要求に応じて大女優へと飛躍する。

# 和歌山癒しの電車紀行

和歌山県内を走るのんびり電車をシリーズで紹介します。

# 地域を支える、名物電車

たま駅長で全国区となった和歌山電鐵の貴志川線。おもちゃ電車など、ローカル線をのんびりと走る面白電車にも注目です。



おもちゃ電車の中には、子どもたちが喜びそうなガチャガチャマシーンやおもちゃのディスプレイが施されています。



ネコの顔の形をした「たまミュージアム貴志駅」は地域のシンボリックな存在。デザイン：水戸岡鋭治

和歌山電鐵の貴志川線といえば、テレビや雑誌でも紹介され、あちらこちらからひっぱりだこの貴志駅スーパー駅長「たま」が勤務する路線。全国から訪れるたまファンは、大人から子どもまで、老若男女問わず。もちろん地域住民の生活の足としても、大切な役割を果たしています。

沿線はJR和歌山駅の9番ホームから発車。日常遣いにも観光にも、ローカル

線をもっと楽しんでもらおうと、通常車両のほかに、世界初のガチャガチャマシンを搭載した「おもちゃ電車」や、走ったり寝転んだりする101匹のたま駅長が描かれた「たま電車」、イチゴをモチーフにした「いちご電車」が走ります。

また、たま駅長が勤務する終点のたまミュージアム貴志駅も見どころ満載。伝統の建築技法が用いられた檜皮葺きのネコ顔駅舎には、可愛くて美味しい

「たまカフェ」が併設。駅長が休みの日曜日は「ニタマ」駅長が代行してお出迎えます。

※たまミュージアム貴志駅には駐車場はありません。

## 和歌山電鐵

●TEL.073-478-0110

●運行区間／和歌山駅～貴志駅

※平成24年12月4日(火)までと翌25年1月4日(金)～3月4日(月)まで、定期検査のため「たま電車」は運休

表紙写真：ドーンデザイン事務所

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター

# 11月・12月のお知らせ

## 外国人のための「専門家による一日相談会」(橋本市)

- 日 時:11月17日(土)13:00~17:00(※受付は16:30まで)
- 場 所:橋本市教育文化会館3階
- 相談内容:法律、在留資格・帰化、保険・年金、教育、女性、生活一般情報など
- 対応言語:中国語、英語、フィリピン語
- 相談費用:無料
- その他:相談内容は秘密厳守、事前の申込み不要  
来年2月2日(土)には、新宮市でも同様の相談会を開催する予定です。

## 多言語サロン

- 日 時:11月11日(日)13:30~15:00
- 場 所:国際交流センター交流ラウンジ
- ゲストスピーカー:アレナ・エクルマンさん(旧東ドイツ出身)
- 定 員:40名(要申込・参加無料)

## インターナショナルカフェ

お茶やお菓子を囲んで様々な国の人と色々な言葉でお話しを楽しみませんか?

- 日 時:11月18日(日)13:30~15:30
  - 場 所:国際交流センター交流ラウンジ
  - 定 員:150名(申込不要・参加無料)
- ※ただし何か一品、食べ物か飲み物をお忘れなく。

## 国際交流まつり2012

世界とつながる 人とつながる~夢と笑顔であふれる1日~

- 日 時:12月16日(日)11:00~15:00(予定)
  - 場 所:県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
- ※この事業に協賛して下さる企業、法人、団体を募集しています。



世界のあいざつを紹介しているJICAのOB

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2  
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F  
和歌山県国際交流センター  
TEL:073-435-5240 FAX:073-435-5243

■開館時間/午前10時~午後6時30分(金曜は午後9時まで) ■休館日/水曜日・祝日、年末年始  
<http://www.wak-kokusai.jp/>



和歌山にフラメンコを普及させた先駆者でもある森さんは「森久美子フラメンコ舞踊団」を率いて自ら舞台に立ち、脚本・演出家としても活躍します。11月21日(水)に特別ゲストとして出演する「アリシア&ネストルフラメンコ舞踊団」でもそのステージに注目です。

## 情熱の伝道者が2年ぶりの来日! 特別出演でより土着性の高い舞台を

### 森久美子フラメンコ舞踊団

和歌山初のフラメンコ舞踊団として、県内外問わず、世界を駆け回る「森久美子フラメンコ舞踊団」。1989年の創立以来、20年以上の長きにわたり、常に業界の最先端に立ち続けてきました。「フラメンコの本質は人生の喜びや悲しみ。魂の奥底から響く深い歌声と、大地を揺らすリズムが一つになって、むき出しの感情を表現します。技だけではない、演者の心の叫びが観客を熱くする、世界でもまれな躍りなのです」。和歌山にフラメンコを普及させた先駆者であり、現在でも同舞踊団を率いて自ら舞台に立ち、脚本・演出家としても活躍する森久美子さん。11月21日(水)には「情熱のフラメンコ!」と題して、アリシア&ネストルフラメンコ舞踊団への特別出演が決まっています。「彼らとは2年ぶりの再会。

舞台がきっかけで、今回で3回目の出演となります。日本ツアーで高い評価を得るなど、技術面での素晴らしさもさることながら、ファミリアとしても魅力的。一体感のあるステージを楽しんでもらえると思いますよ」と森さんは話します。

アリシア&ネストルフラメンコ舞踊団は、長年ペアを組んでさまざまなミュージシャンたちとセッションしてきたアリシアとネストルが、自分たちのフラメンコを表現するために結成。思いは「先人たちの魂を受け継いだ情熱」。哀愁漂うカンテ(歌)に、足で床を踏み鳴らすバイレ(踊り)、指先が奏でるメロディーが心揺さぶるトケ(ギター)、そして呼吸のあったパルマ(手拍子)と掛け声が、情熱的に会場を盛り上げます。森さんは「公演のたびに新しいアレンジを引っさげ、

バージョンアップしている印象です。意外性もあり、いろんなフラメンコの表情を感じることができるでしょう。私たちも負けず、人々の暮らしから生まれた土着性の高い本場スペインの気迫をお見せしたいと思います」と。人生のパッションをフラメンコで表現します。

### 情熱のフラメンコ! アリシア& ネストルフラメンコ舞踊団

平成24年度文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」。特別ゲストとして森久美子フラメンコ舞踊団が出演。

- 会場/和歌山市民会館 小ホール
- 日時/11月21日(水) 開演19:00
- 料金/一般3,500円 ※全席指定席
- 主催/和歌山市文化スポーツ振興財団
- お問い合わせ/和歌山市民会館  
 TEL:073-432-1212

## 県内の文化・イベント情報が検索できます

■わかやま文化情報館 <http://www.wacaf.or.jp/search/>

県内で開催される文化・イベント情報をインターネットで検索できる「わかやま文化情報館」を開設しています。「情報館」では地域・ジャンル・開催年月を指定することにより、該当するイベント情報が一覧表で表示され、詳細を見ることが出来ます。

「わかやま文化情報館」にイベント情報の掲載を希望される主催者の方は、情報館の「イベント情報の掲載依頼」フォームに必要事項を記載の上、送信してください。イベント情報には画像を1枚掲載できます。JPEG等の画像データはフォームに添付して送信できます。イベントのパンフレット・チラシ・案内はがき等の印刷物があれば、別途財団まで郵送でお送りください。

掲載の可否につきましては、いただいた情報を検討のうえ決定します。詳細については、下記までお問い合わせください。

■問い合わせ先/(財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331 〒640-8268和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F



# カルチャーインフォメーション

## 万葉館

☎073(446)5553

～あさもよしきのくに歴史講座～

「空へのあこがれ」気球と飛行船の山田猪三郎

■11月25日(日) 13:30～15:00

日本航空界の先覚者、和歌山市出身の山田猪三郎の日本初飛行船成功の功績を讀める碑文と飛行船の線描が、新和歌浦の高津子山麓にある巨大な青石の顕彰碑に刻まれています。来年は没後100周年。苦心惨澹してこの事業を成した郷土の先人について多くのことを知るチャンスです。

■参加費：200円 ■定員：先着50名(予約不要・当日直接お越しください)  
■講師：中島暁子(和歌山市語り部)

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「不老橋」下車徒歩約10分 ☑午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎無\*但し年末年始12/29～1/3及び設備機器等の点検日を除く ☎入館無料 ☎

## 和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

特別展

「紀伊弥生文化の至宝」

■開催中～12月2日(日)

高さ1mを超える巨大な銅鐸をはじめ、東京・兵庫・県内各地から和歌山発見の銅鐸が大集合！その他、鏡、土器、石器など県内の遺跡から見つかった約500点の展示品を通して、2000年前の和歌山の暮らしを紹介します。



和歌山県指定文化財鐸巻銅鐸(道成寺蔵)

和歌山市岩橋1411 ☎JR和歌山駅東口から和歌山バス「紀伊風土記の丘」行き終点下車徒歩約5分 ☑午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで) ☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎一般350円、大学生210円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ☎

## 和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

サンタが大水槽にやってくる！

～大水槽「黒潮の海」潜水清掃作業公開～

■12月16日(日)、23日(日・祝)

両日とも11:00～12:00、14:00～15:00

サンタに扮した職員が潜水し大掃除。サンタと魚の大きさを見比べることによって、大水槽内の魚の大きさを実感することができます。またサンタと一緒に写真を撮ったり、じゃんけんゲームをすることもできます。紀の国わかやま国体キャラクター「きいちゃん」も登場！一緒に写真を撮ろう！



和歌山市船尾370-1 ☎JRきのくに線海南駅からバス「琴の浦」下車すぐ ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎一般460円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ☎

## 和歌山県立博物館

☎073(436)8670

特別展「高野山麓 祈りのかたち」

■開催中～12月2日(日)

高野山の宗教活動を支えた高野山麓の人々の信仰のあり方は、仏像や神像、仮面など、様々な祈りのかたちとして今日に伝わっています。そうした祈りの心を文化財を通じて浮かび上げさせ、世界遺産・高野山とその文化圏の知られざる新たな魅力に迫ります。



菩薩形坐像(部分) 林ヶ峰観音寺蔵

和歌山県吹上1-4-14 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日)、年末年始(12/29～1/3) ☎特別展「高野山麓 祈りのかたち」一般800円、大学生500円※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ☎

## 和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

『生誕120年記念 川口軌外の歩み展』

■11月10日(土)～2013年1月14日(月・祝)

現在の和歌山県有田川町生まれ。戦前から戦後にかけて新しい絵画の表現に挑み、生涯にわたって描き続けた彼は、10代で画家を志し上京、ヨーロッパの芸術を学んだ上で独自の表現を生み出すことにその歩みを捧げ、日本の近代美術史上に大きな足跡を残しています。今回の展覧会では、洋画家として長く活躍を続けた川口の生涯の歩みを紹介します。



川口 軌外(少女と貝殻)1934年 油彩、キャンバス

和歌山県吹上1-4-14 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎月曜(祝日の場合はその翌日) ☎一般500円(団体400円)、大学生300円(団体250円) ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ☎

## 和歌山県民文化会館ホール抽選会(予約開始日)のご案内

和歌山県民文化会館全館の耐震化工事(平成25年3月末まで予定)に伴い事務所を移転していますが、この期間中、ホール抽選会(予約開始日)及び主催事業の入場券の取り扱いについては下記の場所に変更になっていますのでご了承ください。

### ■抽選会の日程

大ホール	小ホール	抽選会日時
平成26年12月	平成25年12月	平成24年11月30日(金)午前9時
平成27年1月	平成26年1月	平成24年12月28日(金)午前9時
平成27年2月	平成26年2月	平成25年1月31日(木)午前9時
平成27年3月	平成26年3月	平成25年2月28日(木)午前9時

### ■抽選会実施場所

〒640-8268和歌山市広道20番地 第3田中ビル 1階 会議室B  
(場所は、県民文化会館西隣(ホテルアパローム紀の国隣))

### ■予約チケットの受取・販売場所

県民文化会館駐車場 管理事務所(ホテルアパローム紀の国向かい側)  
営業日時/月曜日～日曜日(午前9時～午後7時)

### ■予約受付・問い合わせ

〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル 2階  
(財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335

WAKAYAMA

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行】和歌山県  
【発行日】平成24年11月 【編集・問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F  
☎073(436)1331 FAX 073(436)1335  
【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp